

施設整備計画

都道府県名	大阪府
市町村名	富田林市

- 1 計画名称 大阪府富田林市公立学校等施設整備計画
- 2 計画作成主体 大阪府富田林市
- 3 計画期間 平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

①保有校数及び耐震化の状況等(H27.4.1現在)

保有校等	域内全棟数 (a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟					
		(b)		耐震診断 実施率	うち耐震性 のある棟	うち耐震性 の無い棟	
小学校 16 校	89 棟	68 棟	100 %	68 棟	0 棟		
中学校 8 校	46 棟	31 棟	100 %	31 棟	0 棟		
高等学校 校	棟	棟	%	棟	棟		
特別支援学校 校	棟	棟	%	棟	棟		
幼稚園 11 校	13 棟	8 棟	100 %	8 棟	0 棟		
学校給食施設							
単独校調理場 8 箇所							
共同調理場 2 箇所							
スポーツ施設							
学校水泳プール 箇所							
学校武道場 箇所							
社会体育施設 箇所							

②その他、特記すべき状況・課題

本市は昭和40年、50年代の人口急増期に開校、増築した小・中学校、幼稚園が多く、建物構造体の耐震化対策は平成26年度に完了したが、老朽化対策は十分に進んでおらず、未来を担う子供たちが日々学び生活する学校園施設の老朽化対策への取り組みが課題です。また、児童生徒等の安全確保のためには非構造部材の耐震対策も必要なことから、致命的な事故が起こりやすい屋内運動場等の天井等落下防止対策を推進していくことが喫緊の課題です。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

近年の大規模な地震では、構造体の被害が軽微な場合も非構造部材の被害により、人的被害だけではなく地域住民の避難場所としての機能を損なう可能性があることから、吊り天井を有している新堂小学校講堂及び小学校3校・中学校1校の屋内運動場非構造部材耐震化対策を行い、安全性の確保を図ります。

(目標耐震化率の設定)

学校区分	耐震性の無い棟		計画期間中に耐震化を図る棟数			耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)	
	棟	うち、Is値0.3未満等の棟数	棟	うち補強	うち改築	(現状)	→ (目標)
小学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
中学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
高等学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
特別支援学校	棟	棟	棟	棟	棟		→
幼稚園	棟	棟	棟	棟	棟		→

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

新堂小学校講堂の非構造部材耐震化と併行してアスベスト除去工事を行い、教育環境の質的向上を図ります。

③教育環境の質的な向上を図る整備

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

※(様式2、3)

7 5の目標に対して行う事後評価について

計画期間経過後に、その策定した指標等に基づき目標の達成状況の評価を行い、評価結果は富田林市ウェブサイト等にて公表します。

様式2

整備事業の内容(総括票)

整備区分・内容	事業数	事業全体における 全工事費(千円) 【負担金事業を含む】			備考
			うち、 対象内 実工事費 (交付金の算定対象実 工事費)	うち、 対象外 実工事費	
① 地震、津波等の災害に備えるための整備 防災機能強化	5	92,262	55,000	37,262	
② 防犯対策など安全性の確保を図る整備 大規模改造(法令等)	1	13,738	13,738	0	
③ 教育環境の質的な向上を図る整備					
④ 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備					
小計	6		68,738		
⑤その他目標達成のために必要な事業 及び法第3条第1項各号に規定する負担事業					
小計					
合計	6		(※) 68,738		

(※)様式3と一致すること。